


令和7年度 毛呂山町立川角小学校 学校自己評価書

毛呂山町立川角小学校
校長 土屋 浩一 印



1 本年度の教育活動について（総評）

本校の学校教育目標は「すすんでみがきあおう 豊かな心・たくましい体・考える力」である。目指す学校像を「地域とともに夢と希望を育む川角小学校」としている。

重点目標として「専門職としての教職員であり続けるとともに信頼に満ちた教育の推進」「特別支援教育の推進」「コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育の推進」「生き生きと活動する豊かな心を育む教育の推進」「確かな学力を定着させる学習の創造」「いじめ根絶の実現をめざす」「安全対策の徹底を図り、児童の事故ゼロを実現する」の7点を掲げた。

児童アンケートでは、「先生方は、よいことをしたとき、ほめてくれますか」については96%、「あなたは、学校で友だちとなかよくしていますか」については95%が肯定的な回答であった。保護者アンケートでは、「学校は、学校日より、学年日より、保健日より等を適切に発行している」については100%、「学校は、きまりを守って、外遊びや運動を行い、自分の心と体を鍛える児童の育成に努めている」については99%が肯定的な回答であった。多くの項目で90%以上の肯定的な回答をいただくことができた。今後も全ての児童が安全・安心な充実した学校生活を送ることができるようにさらなる教育活動の充実が必要である。

2 教職員及生徒、保護者等による評価結果

(1) 達成することができた項目

- 学校教育目標 ○小中一貫教育やコミュニティ・スクールの認知
- 人間関係 ○きまり ○広報・伝達

(2) 達成することができなかった項目

- 学習規律 ○家庭学習

3 改善策

授業規律を確立し全ての児童が安心して授業に望めるように全ての教員が共通した指導を行っていく。

家庭学習の「学年×10分以上の時間」について児童アンケートでは69%、保護者アンケートでは68%が肯定的な回答であった。家庭学習の仕方の指導および宿題の出し方の工夫を行っていく。

令和7年度 毛呂山町立学川角小学校 学校関係者評価書

毛呂山町立川角小学校
学校関係者評価委員代表
氏名 岡野 博一



1 学校関係者評価の実施について

(1) 学校関係者評価委員

構成人数12人 (内訳) 学校運営協議会委員 12人

(2) 実施日(会議、授業参観等を含む)

第1回 5月 7日(水) 今年度の学校経営方針並びに重点等について

第2回 7月 9日(水) 小中学校編成計画について

第3回 11月 6日(木) 各校の課題に対する対応状況について

第4回 2月 4日(水) 学校関係者評価の実施

2 学校関係者評価(学校関係者評価委員の意見のとりまとめ)

- ・学校教育目標を児童に浸透させているのはとても良いことだと思う。目標と授業・イベントのつながりまで認識するようになるとより良いと思う。
- ・先生方が目標をたて、児童と向き合っていることが良くわかる。行事の時に参加させていただき目が生き生きしているのが良くわかる。
- ・先日の参観では児童たちが積極的に声を掛けてくれ、楽しくゲームに興じることができた。
- ・「川小広場」に参加したとき、縦割り班が上手に機能しているように感じた。来年度の「川小広場」には、地域の方(区長・民生児童委員等)へも声を掛けてもよいのでは。
- ・職員の負担削減の取り組みが結果として見てとれる。
- ・登校班に課題がある。登下校の安全指導をお願いしたい。

3 学校関係者評価を受けた学校の対応

- ・引き続き、学校運営協議会委員の方や地域の方が児童と一緒に活動する時間を計画的に設け、登下校も含め、児童が安心して学校生活を送れるように学校・家庭・地域が一体となって児童を育成していく。
- ・今後も、教員が児童と向き合う時間を確保するために効率よく業務ができる環境を整備していく。

毛呂山町立 学校長 土屋 浩一

